

第34回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

A.技術・環境・エネルギー

【HP 掲載No.E01/A04】

発表No.	E 01
タイトル	八ッ堀のしみず谷津：産学官民連携での湿地グリーンインフラ共創
所属・名前	<p>清水建設株式会社 橋本 純 定月 歩今 渡部 陽介 国立環境研究所 西廣 淳 田和 康太 東邦大学 平野 佑奈 裕島 野枝 加藤 大輝 認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン 伊藤 雪穂</p>
キーワード	① グリーンインフラ ② 産学官民連携 ③ 湿地再生
<p>自然の持つ機能を活用するグリーンインフラ（以下、GI）が広まる中、都市では新たな緑地創出が活発化する一方、郊外では農林地等の既存の自然を活かした GI 実装が期待される。</p> <p>千葉県北部には「谷津」と呼ばれる小さな谷地形が多数存在する。谷津の谷底部では伝統的に稲作が営まれ、営農による適度な攪乱が健全な水循環や生物多様性等の機能を維持してきた。しかし高度成長期以降は、耕作放棄や埋立てが進み、自然の機能が低下した。気候変動の進行に伴い GI の必要性が高まる中、従来の営農に留まらず谷津を管理する新たな「人と自然のかかわり」が求められる。</p> <p>「八ッ堀のしみず谷津」では、清水建設が中心となりデジタル技術を活用し、異分野・多世代・地域間の連携や、自治体と企業との連携により谷津の魅力を発見し、湿地 GI として活用策を実験する場が生まれている。本稿ではデジタル技術を活かした主体・活動の広がりを中心に谷津 GI 共創の成果を報告する。</p>	